

研究協力のお願ひ

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究を行います。この研究は臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へご連絡ください。

1. 課題名	静脈洞血栓症における頭部ルーチン MRI 撮像法の診断能の比較検討
2. 研究責任者	所属 昭和大学横浜市北部病院 放射線科 職名 准教授 氏名 藤澤 英文
3. 研究の概要・計画	<p>研究背景：静脈洞血栓症は一般に頭痛などの非特異的な症状で発症し、画像による評価も難しく、診断が遅れ脳出血に至ることも少なくありません。本疾患の MRI 診断においては、造影 MRI が有用ですが、静脈洞血栓症が何らかの検査で疑われた時に施行されるものであり、通常の頭部 MRI 検査では行われません。非造影の頭部 MRI 検査所見で本疾患が疑われれば、造影剤を用いた追加撮影が行われ早期診断につながるものと考えられます。しかし、通常の頭部 MRI 検査の各撮像法においてどの撮像法のどのような所見が診断に最も有用か、またどの組み合わせが有用かは明らかにされていません。そのため、静脈洞血栓症の診断に頭部 MRI 検査所見がどの程度寄与するかは不明確です。そこで、頭部 MRI 検査撮像法において、静脈洞血栓症の診断にどの撮像法が最も有用か、またどの組み合わせが有用かを明らかにすることを目的として本研究を計画しています。</p> <p>調査対象期間：2006 年 10 月 1 日～2016 年 9 月 30 日</p> <p>調査対象情報：頭部 MRI 検査が施行され、DSA、造影 CT、造影 MRI など確定診断が得られた静脈洞血栓症患者と、その対照群として、DSA と頭部 MRI が施行され、静脈洞に異常がないと診断された患者のカルテ情報</p> <p>調査項目：・頭部 MRI 検査に関する情報（検査日、検査条件、画像情報） ・静脈洞血栓症の確定診断に関する情報（確定診断の方法、病変部位） ・患者背景（性別、年齢、身長、体重、既往歴、合併症、原因疾患名、血液検査項目）</p>
4. 研究実施期間	倫理審査承認後～2018 年 9 月 30 日
5. 問い合わせ先	昭和大学横浜市北部病院 放射線科 准教授 藤澤 英文 住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000

なお、個人情報の保護のため、診療情報はすべて個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し独自の記号を付して取り扱い、研究成果を学会や論文で発表する際も個人情報を出すことはありません。